

「海の安全は俺たちが守る！」“海猿”の訓練に密着しました！ | 海と日本PROJECT in 愛知県



ホ Ab キーワード検索 🔍

ー 知 ベ ポ 組

ム ら シ ー 情

せ ト ト 報

レポート 2023.09.21

# 「海の安全は俺たちが守る！」“海猿”の訓練に密着しました！

アーカイブ



三河湾や伊勢湾などに囲まれた愛知県。海と野山と都市のバランスよい構成が特色です。養殖など沿岸漁業がさかんで、特にあさり類、くるまえばは全国でも有数の漁獲量を誇ります。「海と日本プロジェクトin愛知県」ではこのような愛知の海の豊かさや多様性を伝えることで皆さんに興味を持ってもらい、海と共生するムーブメントを起こすことを目的に活動しています。



- セントレア
- 中部国際空港
- 巡視艇
- 海と日本プロジェクト愛知
- 海と日本愛知
- 海上保安官
- 海猿
- 海難救助
- 潜水士



海の安全を守る“海上保安官”。その中でも映画「海猿」で一躍有名になった「潜水士」とはどんな仕事なんでしょうか。今回は、第四管区海上保安本部に所属する潜水士さんにお話を伺います。

## Pick up

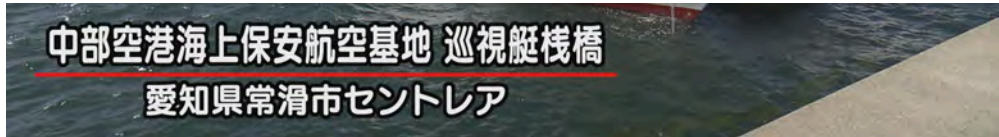


おやつ感覚で食...

「海の安全は俺たちが守る！」“海猿”の訓練に密着しました！ | 海と日本PROJECT in 愛知県



- ホーム
- About
- お知らせ
- イベント
- レポート
- 番組情報
- 検索



### 潜水士の訓練に密着！

中部国際空港にある海上保安航空基地に停泊する巡視艇「いせゆき」。全長32メートル、中部国際空港近くの海を守っています。



### おすすめタグ

- 海と日本プロジェクト愛知
- 海と日本愛知
- 自由研究
- 海と日本
- 蒲郡市
- ごみ拾い
- SDGs
- 海と日本愛知2022
- テレビ愛知
- 海と日本プロジェクト

潜水士が所属する第四管区海上保安本部の管轄範囲は、東海から中部地方の太平洋。担当水域は日本の面積と同じくらいの大きさです。そこで治安の維持や海難救助、交通の安全確保など多岐にわたり海を守っています。

「海の安全は俺たちが守る！」“海猿”の訓練に密着しました！ | 海と日本PROJECT in 愛知県



- ホ  
ー  
ム
- About
- お  
知  
ら  
せ
- イ  
ベ  
ン  
ト
- レ  
ポ  
ー  
ト
- 番  
組  
情  
報
- 🔍



2026.04.03

世界初！複数の無人  
運航船を陸上から同  
時に支援 | 日本財団  
「MEGURI2040」が  
加速させる海運DXと  
社会実装の最前線

潜水士の訓練の様子を見せてもらいました。まず、船首から潜水士たちが海に飛び込んでいきます。これから何が始まるのか聞いてみると…

加藤惇史さん（潜水士歴15年目）：「今から始まるのが『ロープ登り』です。これは救助現場に辿り着くための訓練です」

上釜美憂アナウンサー：「すごいスピードですね！」



潜水士たちは、ウェットスーツや足ひれなどの装備をつけたまま、約3メートルの高さのロープを腕の力だけでよじ登っていきます。

「海の安全は俺たちが守る！」“海猿”の訓練に密着しました！ | 海と日本PROJECT in 愛知県



ホーム

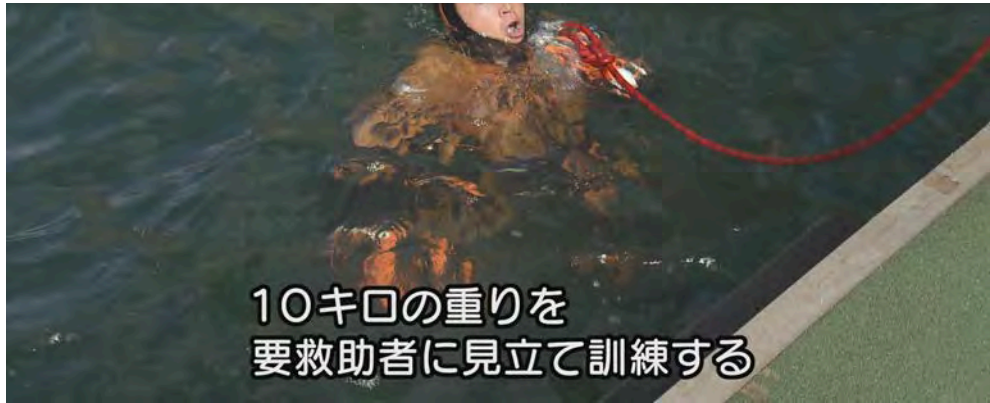
About

お知らせ

イベント

レポート

番組情報



### 潜水士になったきっかけは？

潜水士になれるのは、海上保安官のわずか2%だそう。潜水士になりたいと思ったきっかけは何だったのでしょうか？巡視艇「いせゆき」の潜水士メンバーに聞きました。



岩崎竜介さん（潜水士歴5年目）：

「海の安全は俺たちが守る！」“海猿”の訓練に密着しました！ | 海と日本PROJECT in 愛知県



ホーム

About

お知らせ

イベント

レポート

番組情報



佐藤大樹さん（潜水士歴2年目）：

「先輩方がヘリコプターで救助訓練をやっているのを目の前で見て、潜水士になりたいと思いました」

——逃げ出したいと思うことはありませんか？

「時にはありますが、助けを求める人の方がしんどいと思うので、気持ちで乗り切っています」

——みなさん、すごく立派です！これからも頑張ってください！

＼記事をシェアしよう／

Facebook

X

LINE

ニュースを共有

関連リンク

「海の安全は俺たちが守る！」“海猿”の訓練に密着しました！ | 海と日本PROJECT in 愛知県



ホーム

About

お知らせ

イベント

レポート

番組情報



## 賀島につたわる「たこあみだ地蔵」完成！小学校で上映会